

令和3年度

学校自己評価報告書

令和4年 3月17日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

自己点検評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程に拠り、またPDCAサイクルをふまえ、学校評価を実施しており、今年度の取組（学則等の基準、学校及び各学科、係の方針、運営計画等にもとづいた教育活動や学校運営）について総合的に評価した。

根拠として、年度始めに提示した要項に基づき実施した各評価（各部署、授業、人事考課）資料、定例の各会議（科（係）会、科長会、教職員会議、各部署等）の議事録、日誌、各報告書、復命書等がある。また、後期に実施した研究授業及び教職員研修会、今年度、新規で実施した学生満足度調査についても、年度末の評価に反映させ、次年度の改善の材料とする。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、昨年度に引き続き、教育活動や学校行事、卒業生支援や社会貢献、広報活動等の評価項目の一部において、自粛や制限、中止、変更等の影響があった。特にリモート授業や実習、自宅勤務について、今年度の試みもふまえ、体制の構築に努める必要がある。

評価結果にある改善策及び3月22日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会等をふまえ、更なる危機感、緊張感を持ち、次年度の改善及び学校運営にあたっていきたい。

なお、各科の教務事務及び学生関連の諸表簿、書類等について、3月17日に学校長及び教務部長により点検を行った。一部様式や内容、学科間の整合性等で修正、改善を要する事項もあったが、概ね良好であり、次年度以降も、普段の確認や手続き、整理等を遺漏なく行い、学校及び学科の運営に支障がないよう取り組んでいきたい。

評価項目を以下の10項目として、また、評価段階を各種評価と同様の5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5(5)
②	人材育成像・指導方針が設定されている	5(5)
③	①②を明文化している	5(5)
④	①②について、周知徹底されている	4(4)
⑤	①②について、実践し教育に現れている	4(4)

[状況・課題]

- ・④⑤に関連し全般的に実践できているが、特に年度後半、感染症拡大の影響で、対面での指導等ができにくい状況にあった。

[改善策]

- ・④⑤について、本校（各学科）の特色、対面と遠隔のバランス等をふまえ、効果的な授業及び指導のあり方を整える。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	4(4)
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	4(4)
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	4(4)
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	4(4)
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	4(4)

[状況・課題]

- ・就業規則に抛り、また学則や内規等を明示し学校運営に当たってきた。 ※同じ
- ・コロナ禍を想定した事業計画の見直しが必要である。

[改善策]

- ・本年度の実績をふまえ、コロナ禍を前提とし、学校運営に必要な対応に影響がないようスムーズな業務の遂行に努める。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	4(4)
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	4(4)
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	5(5)
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	4(4)
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	4(4)
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	3(3)
⑦	資格取得の指導体制はあるか	4(4)

[状況・課題]

- ・⑤について、特に専任教員自身の改善策の提示（コメント欄記入）が不十分である。マンネリ化につながる状況が窺える。
- ・⑥について、後期に研究授業及び教職員研修会を実施した。

[改善策]

- ・⑤について、再度P D C Aの意義を提示し、改善に対する意識づけを図る。
- ・専門分野や指導能力に係る研修参加を奨励していくとともに、オンラインによる研修等に参加しやすい態勢を整える。 ※継続

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	5(5)
②	資格取得率の向上が図られているか	4(4)
③	退学率の低減が図られているか	4(3)
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	3(3)

[状況・課題]

- ・②について、取得率向上の資格があった。
- ・③について、改善が見られる。
- ・④について、感染症の影響で卒業生の就労先訪問ができなかったが、一部、広報活動等で訪問した際、状況を確認することができた。

[改善策]

- ・②について、今年度の実績をふまえ、試験対策の方法及び態勢を見直す。
- ・④について、実習先訪問や来校者、教員個々との関わりを通して、卒業生の状況の把握に努める。 ※継続

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	4(4)
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	4(4)
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	5(4)
④	保護者と適切に連携しているか	4(4)
⑤	卒業生への支援体制はあるか	3(3)

[状況・課題]

- ・①②について、校務分掌としての体制はないが、各科とも個別の対応としてしっかり取り組んだ。 ※同じ
- ・③について、公的制度及び同窓会による支援の案内、手続等、事務職員も含め、懇切丁寧に実施した。
- ・感染症の影響で、施設訪問（卒業生支援）等直接的な支援ができにくかった。

[改善策]

- ・⑤に関連し、卒業生名簿（活動ネットワーク）及びキーパーソンとなる卒業生を中心としたネットワークを積極的に活用し、卒業後の状況の把握及び支援につなげる。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	4(4)
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	4(4)
③	防災に対する体制は整備されているか	4(4)

[状況・課題]

- ・①について、老朽化に伴う設備の修繕、整備や教育関連設備及び機材の交換等、厳しい財務状況であるが善処している。 ※同じ
- ・リモート学習や情報伝達等でパソコンを貸与、活用しているが、全学的な体制としては不十分である。
- ・②について、感染症対策をふまえた本校と実習依頼先双方の意向により、延期や中止があった。

[改善策]

- ・上記2項に関連し、リモート学習を積極的に実施するために、操作利用の方法や授業展開の見直し等、全学的な取組として検討し体制を整備する。
- ・上記3項に関連し、カリキュラム上の学習効果を考慮し、実施することを優先させ、引き続き関係機関や施設等との連携、調整を図る。 ※継続

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4(4)
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	5(5)
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4(4)
④	学納金は、妥当なものとなっているか	4(4)

[状況・課題]

- ・各項目とも、概ね良好である。

[改善策]

- ・①について、対象となる高校生や社会人等に対し、本校について、より分かりやすく効果的に伝えられるよう、広報内容や方法をあらためて検討し、適切に実施する。

8 財務

	評価項目	評価
①	学校の財務基盤は安定していると言えるか	2(3)
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	3(3)
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4(4)
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4(4)

[状況・課題]

- ・安定した財務基盤の維持は、厳しい状況である。

[改善策]

- ・中長期の見通しを持って、各科の改編、学科新設、新規事業の導入について引き続き検討し、早期に実現させ、財務基盤の回復、財務の健全化を図る。

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5(5)
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4(4)
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	4(4)
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	5(5)

[状況・課題]

- ・各項目とも、概ね良好である。

[改善策]

- ・今年度の自己評価や関係者評価をふまえ、引き続き改善に努める。

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	4(4)
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3(3)
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	3(3)

[状況・課題]

- ・一般向けの特別講座（各科）の動画を定期配信（YouTube）した。
- ・グラウンドの提供について、感染症の影響で自粛せざるを得なかった。

[改善策]

- ・本校独自のイベントについて企画、実施する。
- ・感染症の影響を考慮した社会貢献のあり方について検討し、実施につなげていく。

以 上